

2025年3月5日

## 味の素(株)、3年連続で6%相当の賃上げを実施

定期昇給を含め、1人当たり平均金額24,000円超の賃上げを実現

味の素株式会社(社長：中村 茂雄 本社：東京都中央区)は、2025年3月5日に開催された春季労使交渉において、味の素労働組合の要求金額であるベースアップ16,000円に対し一発満額で回答し、妥結しました。これにより定期昇給を含め6%相当、1人当たり平均24,000円以上の賃上げを実施します。2023年から3年連続で賃上げを実施しており、定期昇給を含め3年間で合計60,000円を超える賃上げとなります。

当社は、「アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献する」という“志(パーパス)”に共感する多様な人財が、中期ASV経営 2030年ロードマップの実現に向けて挑戦を続けています。高い目標へ挑戦する原動力は“志(パーパス)”とエンゲージメントとのつながりであり、人財・技術・顧客・組織の4つの無形資産のうち、最も大切な人財資産への投資強化によりエンゲージメントを高めていくことが、企業価値の向上において不可欠であると考えています。こうした取り組みの一環として、過去2年間と同水準の6%相当の賃上げを決定しました。

さらに、新卒採用競争力強化および若手人財層への投資強化を目的として、新卒入社社員の初任給も引き上げます。また、正規雇用者のみならず、“志(パーパス)”に共感し、共に働くパートナーである非正規雇用社員に対しても、物価上昇分を上回る賃上げを実施する方針を決定しました。

当社は今後も社会課題の解決に取り組み、“志(パーパス)”につながる、明るく、豊かで、幸福感(Well-being)に満たされた社会の実現に貢献することを目指します。

### 【社員群別 賃金改定概要】

#### 1. 正規雇用社員(3月1日時点)

##### (1)組合員

- ・人数：2,425人
- ・平均年齢：39.0歳
- ・賃金表改定額(平均)：1人当たり金額 24,565円(内訳：定期昇給2.3%+ベースアップ16,000円)
- ・初任給(グローバル型)：16,000円引き上げ

##### (2)基幹職(管理職)

- ・人数：1,540人
- ・賃金改定額：ベースアップ16,000円

#### 2. 非正規雇用社員(シニア再雇用社員、パートタイム社員)

- ・人数：387人
- ・賃金改定額：4.0%以上の賃上げ

味の素グループは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートスローガンに、アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献し、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2023年度の売上高は1兆4,392億円。世界34の国・地域に拠点を置き、商品を販売している国・地域は130以上にのびます(2024年現在)。詳しくは、[www.ajinomoto.co.jp](http://www.ajinomoto.co.jp)をご覧ください。